

一般質問



一般質問は、11月29日から12月1日までの3日間、20人の議員によって行われました。

質問は、まちづくりや教育に関するものをはじめ、市政全般にわたり、活発な議論が展開されました。

(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載)

鶴巻温泉駅南口周辺整備の

平成27年度完成を目指せ

新政クラブ 今井 実
鶴巻温泉駅南口周辺整備について

問 鶴巻温泉駅南口の駅前広場の整備については、平成27年度完成予定だが、駅前広場だけでなく、県道拡幅と立体横断施設の整備を含めた三位一体の整備をすることが最良だと考える。現在の整備状況について

答 完成年次に向け、駅前広場詳細設計の中で立体横断施設整備計画も合わせて策定している。地域活性化のためのにぎわい拠点整備については、タイミングを外さないよう地域と連携して進めたい。

今こそ災害時の通信手段の

確保に向けた対策強化を

公明党 山下 博己
災害時の情報伝達の円滑化について

問 東日本大震災での情報網の混乱を教訓に、災害時の確実な情報伝達手段として、①災害に強いツイッターの活用は、②すべての市民の携帯電話に、登録なしで緊急情報を提供できるエリアメールの導入は、③臨時防災FM局の開局準備を進め、災害時に早急にスタートできる体制の推進は、④災害に影響されない衛星を経由した衛星ブロードバンドの導入などが必要と思うがどうか

答 ①有効利用について調査研究する。②県の防災情報部会での方向が示されれば、積極的に導入を検討したい。③臨時災害放送局と



鶴巻温泉駅南口広場の整備は

震生湖周辺を整備し

観光拠点づくりを推進せよ

新政クラブ 高橋 徹夫
震生湖周辺整備について

問 震生湖周辺は、自然の展望や景観もすばらしく、本市の観光地と位置付けられているが、多くの集客を見込むには、観光施設整備が必要と考える。今後どのような計画で整備していくのか

答 本市を代表する観光地であり、新総合計画で震生湖周辺整備を施策に位置付け、新たな観光振興策を展開するため、周辺整備計画の策定を進めている。

問 周辺の観光地整備には、地域住民の知恵と協力が不可欠であるが、どのように考えているのか

答 周辺整備は、ゾーン分けして整備を進めていく考えだが、行政が計画の枠組みをつくり、整備の担い手として、地域住民の協力を得て観光地整備を行い、観光振興を図っていきたい。

震災がれきの広域処理は

国民的課題であり他人事ではない

民政会 吉村 慶一
災害廃棄物(震災がれき)の受け入れ検討について

問 東日本大震災は国難であり、復興の第一歩となる震災がれきの処理は国民的課題であるが、広域処理で協力しているのは、東京都のみである。秦野市伊勢原市環境衛生組合では、クリーンセンター完成により180tの焼却炉が空く。本市としては、これに民間活力を導入することで広域処理に協力できる可能性があるという姿勢で国の広域処理についての調査に回答すべきと考えるがどうか

答 本市、伊勢原市、秦野市伊勢原市環境衛生組合の3者で協議し、現状の焼却施設などで処理するのは困難なため不可能と回答した。

二 北地区の諸問題について

問 北地区市政懇談会に出席し、その後、現地視察を実施した。北小学校では、登校時、約400人の児童が市道51号線と52号線の交差点に集中し、保護者の見守りによってようやく安全が保たれている。また、矢坪沢は保安林であるが、管理が不十分で鳥獣被害の原因となつている。双方とも関係者の声をよく聞いた上で、何らかの

問 鶴巻温泉駅南口周辺整備の目標年次までの完成には、職員体制を整えることも視野に入れた、市長をはじめとする職員の不転勤の決意が必要と思うがどうか

答 地元住民の期待に応えるためにも地域と協力して推進していく。

二 はだのJ-1(地場産)グラブリについて

問 地産地消の推進と本市農商業の発展と活性化を図るため、単発のイベントではなく、食材の生産から商品開発や販路の確保まで、なりわいとして継続できる農と食の祭典、はだのJ-1(地場産)グラブリを開催してはどうか

答 従来と異なる幅広い農産物の支援策であり、本市をPRできると考える。真の農産連携のためにも実施に向け検討したい。

二 秦野駅南口(今泉地区)土地区画整理事業について

問 秦野駅南口周辺のまちづくりは、今泉地区の区画整理事業で完成すると考えるが、区画整理の位置

問 震生湖周辺は、自然の展望や景観もすばらしく、本市の観光地と位置付けられているが、多くの集客を見込むには、観光施設整備が必要と考える。今後どのような計画で整備していくのか

答 本市を代表する観光地であり、新総合計画で震生湖周辺整備を施策に位置付け、新たな観光振興策を展開するため、周辺整備計画の策定を進めている。

問 周辺の観光地整備には、地域住民の知恵と協力が不可欠であるが、どのように考えているのか

答 周辺整備は、ゾーン分けして整備を進めていく考えだが、行政が計画の枠組みをつくり、整備の担い手として、地域住民の協力を得て観光地整備を行い、観光振興を図っていきたい。



震生湖周辺の観光地整備を

問 震生湖周辺は、自然の展望や景観もすばらしく、本市の観光地と位置付けられているが、多くの集客を見込むには、観光施設整備が必要と考える。今後どのような計画で整備していくのか

答 本市を代表する観光地であり、新総合計画で震生湖周辺整備を施策に位置付け、新たな観光振興策を展開するため、周辺整備計画の策定を進めている。

問 周辺の観光地整備には、地域住民の知恵と協力が不可欠であるが、どのように考えているのか

答 周辺整備は、ゾーン分けして整備を進めていく考えだが、行政が計画の枠組みをつくり、整備の担い手として、地域住民の協力を得て観光地整備を行い、観光振興を図っていきたい。



通学路の安全対策を

問 震生湖周辺は、自然の展望や景観もすばらしく、本市の観光地と位置付けられているが、多くの集客を見込むには、観光施設整備が必要と考える。今後どのような計画で整備していくのか

答 本市を代表する観光地であり、新総合計画で震生湖周辺整備を施策に位置付け、新たな観光振興策を展開するため、周辺整備計画の策定を進めている。

問 周辺の観光地整備には、地域住民の知恵と協力が不可欠であるが、どのように考えているのか

答 周辺整備は、ゾーン分けして整備を進めていく考えだが、行政が計画の枠組みをつくり、整備の担い手として、地域住民の協力を得て観光地整備を行い、観光振興を図っていきたい。

問 震生湖周辺は、自然の展望や景観もすばらしく、本市の観光地と位置付けられているが、多くの集客を見込むには、観光施設整備が必要と考える。今後どのような計画で整備していくのか

答 本市を代表する観光地であり、新総合計画で震生湖周辺整備を施策に位置付け、新たな観光振興策を展開するため、周辺整備計画の策定を進めている。

問 周辺の観光地整備には、地域住民の知恵と協力が不可欠であるが、どのように考えているのか

答 周辺整備は、ゾーン分けして整備を進めていく考えだが、行政が計画の枠組みをつくり、整備の担い手として、地域住民の協力を得て観光地整備を行い、観光振興を図っていきたい。

問 震生湖周辺は、自然の展望や景観もすばらしく、本市の観光地と位置付けられているが、多くの集客を見込むには、観光施設整備が必要と考える。今後どのような計画で整備していくのか

答 本市を代表する観光地であり、新総合計画で震生湖周辺整備を施策に位置付け、新たな観光振興策を展開するため、周辺整備計画の策定を進めている。

問 周辺の観光地整備には、地域住民の知恵と協力が不可欠であるが、どのように考えているのか

答 周辺整備は、ゾーン分けして整備を進めていく考えだが、行政が計画の枠組みをつくり、整備の担い手として、地域住民の協力を得て観光地整備を行い、観光振興を図っていきたい。

問 震生湖周辺は、自然の展望や景観もすばらしく、本市の観光地と位置付けられているが、多くの集客を見込むには、観光施設整備が必要と考える。今後どのような計画で整備していくのか

答 本市を代表する観光地であり、新総合計画で震生湖周辺整備を施策に位置付け、新たな観光振興策を展開するため、周辺整備計画の策定を進めている。

問 周辺の観光地整備には、地域住民の知恵と協力が不可欠であるが、どのように考えているのか

答 周辺整備は、ゾーン分けして整備を進めていく考えだが、行政が計画の枠組みをつくり、整備の担い手として、地域住民の協力を得て観光地整備を行い、観光振興を図っていきたい。

